

<様式 A>

投球数確認シート

※試合毎の投球数は、
様式 B より転記する。

日本リトルシニア中学硬式野球協会
関西連盟 西部ブロック



大会名：2022 伊丹・宝塚市長杯 西部ブロック大会

チーム名：

		投 球 数															
球 場 名																	
試 合 日 時		/				/				/				/			
対 戦 相 手		V S		V S		V S		V S		V S		V S		V S			
背番号	投 手 名	投球数	可・不可	投球可能数	投球数	可・不可	投球可能数	投球数	可・不可	投球可能数	投球数	可・不可	投球可能数	投球数	可・不可	投球可能数	投球数
1		球		球	球		球	球		球	球		球	球		球	球
2		球		球	球		球	球		球	球		球	球		球	球
3		球		球	球		球	球		球	球		球	球		球	球
4		球		球	球		球	球		球	球		球	球		球	球
5		球		球	球		球	球		球	球		球	球		球	球
6		球		球	球		球	球		球	球		球	球		球	球
7		球		球	球		球	球		球	球		球	球		球	球
8		球		球	球		球	球		球	球		球	球		球	球
9		球		球	球		球	球		球	球		球	球		球	球
10		球		球	球		球	球		球	球		球	球		球	球
球場責任理事（役員）確認サイン																	
球場責任審判員確認サイン																	
チーム責任者確認サイン																	

【投球数制限】 投手の投球数制限に関しては、次に掲げるリトルシニア独自のガイドラインに基づくものとする。

- ① 1日最大90球以内とする。
- ② 連続する2日間で130球以内とする。
- ③ 3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、
2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。
- ④ 上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日、休めば90球の投球を可能とする。
- ⑥ 打者に対して投じた投球がバークとなった場合は、投球数にカウントする。
また、12秒及び、20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウント

する。（例：2ボール・1ストライクとなり申告敬遠をした場合、それまでに投じていた3球は投球数にカウントする。）

- ⑧ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようにお願いします。
- ⑨ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、この統一ガイドラインに則った投球制限で投球するようにお願いします。

【本シートの運用方法】

- ① 試合終了後、本シート（原本）に投球数を球場責任審判員が記入・サイン後、球場責任理事（役員）及び、チーム責任者へ確認を求め、サインを受ける。
- ② チーム責任者は、サインされた本シート（原本）を次の試合まで保管する。
- ③ 監督は、次の試合開始前に本シート（原本）とコピー2部を大会本部へ提出する。
注）連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。